

ベトナム子供基金 10 周年

ベトナム子供基金は6月3日、創立 10 周年を迎えます。本通信はこれを記念して、「10周年特集号」を制作しました。「特集号」は子供基金の広報にも使えるよう、活動内容を網羅しております。会員の皆様には同封送付しましたので、ご高覧いただければ幸いです。

■ベトナム子供基金 10 周年にあたり

ベトナム青葉奨学会代表
グエン・ドク・ホウエ

時のたつのは早いもので、ベトナム子供基金も 10 周年を迎えました。子供基金は過去 10 年間、ベトナムの子どもたちや教育に多大なる貢献をしてきました。貧しい子どもたちに 4212 件の奨学金を与え、また、辺境地に 4 つの学校を作ってくれました。奨学金を受けた学生たち、学生の父母、基金から援助を受けた地方の住民たち、また、ベトナムのすべてを代表して、ベトナム子供基金会員の皆様をはじめ、基金にご協力いただいた方々に対して、厚くお礼申し上げます。

皆様からの奨学金のおかげで、学生たちが勉学を続け、希望の教育段階まで進学できるようになりました。これまで、ほとんどの奨学生が高校まで進学し、43人が大学を卒業しました。ベトナムにおいて高校や大学を出ることは高い理想であり、まして彼らのような貧しいものにとっては一生のあこがれです。学校を卒業した学生は皆自立し、不自由のない

生活を送ることができるようになり、社会に貢献できるまでに成長しました。それはすべて援助いただいた皆様のおかげです。皆様が建ててくださった学校はこの先 30~50 年存続し、農村地や辺境地の若者たちを育てて、送り出すことができるでしょう。その学生の中から地方や国家に携わる人材も出てくるはずで、そして、学校がある地方の住民は皆様の支援を忘れることはないでしょう。

農村地や辺境地の子どもたちにとって、外国人を認知するのは皆様が初めてです。彼らの日本や日本人に対する印象はとも良く、感謝の気持ちでいっぱいです。ときどき、皆様がベトナムへ来て、学生たちと面会し、励ましてくださることは彼らに温かい気持ちを与えてくれます。これを機に、日越両民族の友情はますます深まっていくことでしょう。

ベトナムの子どもたち、また、ベトナム国に対して、皆様が大きな支援をしてくださることは日越両民族の永久的な友情、また、世界の平和につながっていくことと信じています。

最後に、改めて、奨学金を受けた学生、ベトナム子供基金から助けられた地方の

住民を代表して、基金の会員の皆様、協力してくれた友人たちに感謝いたします。最後になりましたが、皆様のご多幸をお祈りしております。(Nguyen Duc Hoe)

* * *

■ベトナム子供基金 10 周年を迎えて ホウエ氏にファン・ポイ・チャウを重ねつつ

ベトナム子供基金代表
近藤 昇

1995 年、グエン・ドク・ホウエさんの奨学基金設立の要請を受けて、私が思い浮かべたのは、その四半世紀前に当時のサイゴン的一角で、縁あって共に暮らしていた路上生活の子どもたちのことでした。私たちの家にいる限りは、彼らは靴磨きや新聞売りなどをしながら、希望すれば学校へ行くことができましたが、それは限られた子どもたちであり、ほとんどの路上生活の子どもたちにとっては不可能なことでした。

ホウエさんはかつて留学生として東京大学大学院で理論物理学を学んでいた時代を、アジア文化会館の母体となった新星学寮で、寮の主事であり会館の創設者でもあった故穂積五一先生の下で過ごしました。このときの先生や寮の在り方に影響を受け、ホウエさんは苦しい勉学生活を送っていたベトナム人留学生のための宿舎を自ら立ち上げました。そしてこの寮を「東遊(ドンズー)学舎」と名付けました。「東遊」とは 1900 年代の初め、フランス植民地からの独立を求め、日本への留学運動を推進した先人ファン・ポイ・チャウの「東遊運動」に由来するものです。そしてこのときすでにホウエさんは、戦禍のもとにある子どもたちへの救援基金を在日ベトナム人留学生とその友人たちから募り、故国に送る活

動を行っていました。74 年に帰国し、幾多の困難を経た後で、ベトナムの若者たちに日本の科学技術を学ばせたいと考えたホウエさんは 91 年、「東遊日本語学校」を設立します。この「東遊日本語学校」から現在までに数百名のベトナム人学生が留学しています。ホウエさんは、教育を通じてベトナムの子どもたちに希望を与え、その力で人々が幸福に暮らせるベトナムを築こうとしているのです。

ベトナム子供基金設立当時、ベトナム戦争が終わってすでに 20 年が経っていました。しかし、依然として、貧しい家庭の子どもたちが教育を受ける機会さえ奪われがちな状況を、ホウエさんは黙視できませんでした。

私は、たまたま青年期のある時期をボランティアとしてベトナムで過ごし、ホウエさんの気持ちの背景を想像する条件がある程度ありましたし、アジア文化会館の職員という地の利もあり、先輩や友人の協力を得て、95 年 6 月に「ベトナム子供基金」を発会させることができました。しかし私が基金の運営に携わっていたのは最初の 1 年ほどにすぎません。基金の趣旨に賛同して運営委員になろうという方々がすぐに現れ、歴代の事務局長を始め、各担当役員を引き受けて現在に至っています。さらに、さまざまなメディアがこの基金を紹介してくださったことにより、全国各地でホウエさんの気持ちを受け止め、奨学金支援の申し出をしてくださる多くの方々が現れました。皆様が里親として、一般会員として、継続し、代を継ぎ、あるいは入れ替わって今日までベトナムの子どもたちを支えてくださっています。

この 10 年、ベトナムの子どもたちと彼らを支えてこられたホウエさんはじめ、ベトナムと日本の皆様からいただいた大切なものを力にして、これからも歩み続けたいと思います。(こんどう のぼる)

■黄梅基金で学校建設 —現地視察報告—

新たな「学校建設黄梅基金」がこのたび、会員の霍田耕二郎、小形康善の両氏のご支援により、実現します。子供基金の飯田博康事務局長は3月、ベトナム青葉奨学会のグエン・ドク・ホウエ代表とともに建設予定地を視察し、「学校建設黄梅基金」を実施することを決めました。

ベンチュー省 小学校建設予定地視察

飯田 博康

3月16日(水)朝6時、ホーチミン市を出発。ミートー(My Tho)からはフェリーに2回乗り、やっと11時30分、クイホア(Quy Hoa)村に到着。

村の人口は現在、9500人、うち小学生が1000人。小学校は、村に4校ある。

村の産業は稲作とヤシの実。最近は、えびの養殖が行われている。

郡事務所からは車では行けず、バイクの後ろに乗って幅2mの農道を走る。約20分で目的の小学校がある。学校は2教室で、幼稚園(30人)と小学校1、2年生(60人)が勉強する。学校は、トタン屋根に周りを板で囲んだもので、大きめの物置小屋のようだ。

教室は風雨にさらされ、落ち着いて勉強ができない悪条件である。幸い、近くに村



教室はトタン屋根で、板塼で周囲を囲っている。

が用意した学校建設予定地がある。用地は、横20m、奥行き50mで造成する必要もなく、洪水等の心配もない。村の期待通り4教室が完成すれば、子どもたちはきっと喜ぶことと思われる。

青葉奨学会のホウエ氏は、村の人たちが協力して建設費を節約し、机や椅子が用意されることを依頼した。

現在、小学1年から4年生は120人、教諭は3人。竣工は工事着工後3カ月。2005年9月の新学年は、新しい学校で勉強が始まる。



校舎外観

(いいだ ひろやす)



カット：かいせまうし

■里子の声 (奨学金授与式スピーチより)

奨学金を受ける喜び

グエン・ティ・トゥイ・リエウ

私は、小学校2年生のときから青葉奨学金をいただいている経済的に恵まれない学生の一人です。現在、私は中学校4年生になりました。これまでの8年間、私は、家族や友人たちの温かい気持ちに支えられて生きてきました。また、青葉奨学会は、私のような貧しい学生をご支援くださいました。

私が小学校2年生のとき、母は病気のために体が弱くなり、仕事をするのができなくなってしまいました。家族の負担が父の肩に重くのしかかりました。家族の1日の収入は、2万7000ドンだけです。もし、これ以上家計が困難になった場合、私は勉強をやめなければなりません。そのときは、両親を助けるために、早く大人になりたいです。

私は、毎日学校へ通い、勉強に励んでいます。また、私はいつも心のどこかで、いつか勉強をやめなければならない日がくることを不安に感じています。ですが、幸運なことに、私は、青葉奨学会からご支援をいただいています。引き続き今年も青葉奨学会にご支援いただけますことを心よりうれしく思います。両親も私の幸運をととても喜んでくれています。

初めて奨学金を受け取ったとき、私は本当に幸せで感動したことを覚えています。この奨学金支援は、私たちのような貧しい学生にとって大変大きな意味を持っています。奨学金を通じて、私たちは、里親様の愛情を実感することができます。友人たちが奨学金を手にしてしている姿を見ると、胸が熱くなります。私は、友人たちのように、引

き続き学校に通うことができます。里親様からいただいた奨学金は、勉強に必要なものを購入するために使わせていただきます。

私たちは、家族や友人、そして、青葉奨学会の温かい気持ちに支えられています。幸運なことに、私たちは、精神的に充実した生活を送り、困難を抱えているかわいそうな子どもたちに比べて、穏やかに新年を迎える準備をすることができました。

私たちは、一番幸せな人間です。先輩たちを見習い、私たちは、素直で優秀な学生になるため、一生懸命勉強に励みます。そして、両親や里親様、また、青葉奨学会の先生方や私たちに幸せを運んでくださる皆様を悲しませないために、日々努力いたします。

青葉奨学会の先生方と里親様のご健康、ご幸福を心よりお祈り申し上げます。里親様の愛情、青葉奨学会の先生方と学生の皆さんの温かいお気持ちにふさわしい学生になるため、勉強に励むことをお約束いたします。

(Nguyen Thi Thuy Lieu)

* * *

ベトナムの発展のために

グエン・ティ・キム・リエン

本日は、この記念すべき式典において、奨学生を代表し、皆様にごあいさつさせていただきますことを大変光栄に思います。

先生から青葉奨学金をいただけるという知らせを受けたとき、私はとてもうれしかったことを覚えています。なぜなら、この奨学金は、私たちが勉強を続けていくための、大きな原動力だからです。

毎回、私は里親様に手紙を書き、感謝の気持ちを伝えました。そして、毎年奨学金

をいただくため、また、里親様と貧しい学生たちが学校で勉強をするための条件を整えてくださる青葉奨学会の先生方を悲しませないために、さらに努力することを固く心に誓いました。

私は、奨学金をいただき、大学に進学することができました。貧しい学生生活の中、私はこの奨学金にどれほど助けられたかわかりません。さらに幸運なことに、この度、私は、日本への留学が決断いたしました。

日本では、建築、科学、経済についての理解を深め、留学後はベトナムへ帰国し、ベトナム国発展のために、力の限り努力することを約束いたします。

私は、これからも多くの困難と試練を乗り越えなければなりません。ですが、私は、両親や先生方、そして、里親様の期待に応えることができるように、青葉奨学会の教えに従い、一生懸命努力することをお約束いたします。

奨学生の皆さんが、精一杯勉学に励み、将来成功を収められますことを心よりお祈り申し上げます。

最後になりましたが、新年における皆様のご健康、ご多幸、御成功をお祈り申し上げます。また、学生の皆さんが優秀な成績を修められますことをお祈りいたします。

(Nguyen Thi Kim Lien)

* * *

学業と仕事の両立

リー・クオック・フー

本日この式典において、青葉奨学会についての思いを話させていただけますことを大変光栄に思います。

7年前、母が、偶然に青葉奨学金をいただいている学生の父母と知り合い、そのと

き、私の母は初めて青葉奨学会の存在を知りました。それ以来、私は学生の間、青葉奨学会とともに過ごすこととなったのです。

この式典に出席している学生の皆さんの生活環境はそれぞれ違いますが、一つだけ共通点があることを私は知っています。それは、貧しい環境にありながらも、家族を手伝いながら優秀な成績を修めていることです。それは、本当に貴重なことだと思います。この場をお借りして、学生の皆さん、先生方、そして里親の皆様、私の家庭環境をお話しさせていただきます。

当時、家庭の状況が本当に苦しかったことを、私は未だに覚えています。父が脳性まひになったため、家族を養うことが不可能となりました。母は、市場や路上で物売りをしていましたが、稼げるお金はごくわずかにもかかわらず、その稼ぎは、すべて父の薬代に消えていくという過酷な毎日でした。

生活は非常に苦しく困難を極めました。さらに、その当時の私は、必死に勉強すること以外、家族を助けることはできませんでした。なぜなら、私が困難から抜け出すためには、学歴を身に付けるしかないと考えたからです。

しかし、私たちが諦めることなく辛抱強く努力を続けたならば、人生は決して私たちに背を向けることはありません。このことは、実際に私がすでに経験したことであります。最も苦しいときに、青葉奨学金が私を救い、学校の友人や先生方が、私を支えてくれました。叔父叔母、親戚、近所に住む人々も必死に私たち家族を助けてくれました。

空腹時の一口は、満腹時の一包み以上の価値をもたらします。野菜が少しと一かけらの肉しかないときもありましたが、それでも私にとっては、すべてがありがたい皆様からの大切な気持ちでした。

大学に進学し、私がアルバイトをしながら学校に通うようになったため、生活はいくらか楽になりました。

大学1年目、私はとても消極的で、学業にばかり専念していたのを覚えています。なぜなら、私には、奨学金があったからです。しかし、勉強しながら働くということは、とても貴重な経験だと思います。教科書や学校では教えてもらうことのできない、多くのことを学ぶことができます。

3年生になり、私は懸命に仕事を探し、ある外国語センターでの正式教員のアルバイトをすることが決まりました。それは、正式教員ではありますが、何の資格も必要としませんでした。午前中大学に通い、夜はセンターでのアルバイト、そして日曜は家庭教師をする生活でした。

最終学年になり、皆が卒業試験の準備をしているころ、私は、シンガポールのコンピューター学校で仕事をする決まりました。遅いときには夜9時半過ぎまで教え、家に帰ってからなんとか時間を作り、2、3時間勉強していました。このように仕事をしながら懸命に勉強を続ける中、私はある日、オーストラリアの奨学金のことを耳にしました。実力を試すつもりで試験を受けたのですが、思いがけず、その奨学金に合格することができました。試験日が近くなって、ようやく仕事を休み、奨学金試験の準備のため、自分がこれまで学んだことを復習しただけでした。

私は現在、午前中、学校に通いながら、午後と夜に英語を教えています。二つの違った分野の仕事、また、経済と教育において、私は成功を収めることができました。

将来、私は自分の会社を設立したいと考えています。また、夜には勉強を教えることができると希望しています。私は、この二つの分野において、喜びを見出すことができました。

今日の私があるのは、青葉奨学会、里親の皆様、青葉奨学会の先生方、高校の先生と大学教授のご支援のおかげと、心から感謝しております。また、友人や親戚、近所の方々、特に両親に対しては、深く感謝いたしております。

もし、皆様からのご支援をいただくことができなければ、今日の私はなかったと思います。将来、もしできることなら、里親の皆様と一緒に、私のような環境にある子どもたちを助けてあげたいと思っています。青葉奨学会が発展し、貧しくとも一生懸命勉強しているすべての学生たちに、奨学金が支給されることを願っています。

最後になりましたが、先生方、里親の皆様、ご来賓の皆様、そして学生の皆さんの新年における平穩、ご繁栄、ご成功を心よりお祈り申し上げます。

(Ly Quoc Phu)



カット：かいせまうし

■ 青葉の「制服を贈る活動」

貧しい子どもたちに新しい洋服のプレゼント

青葉奨学会（ドンズー日本語学校、ホーチミン〈HCM〉市）の“春の樹”2005年のプログラムで、3000着のうちの約600着の新しい洋服（紺のズボン、白のシャツ）がドゥックホア（Duc Hoa）郡、カンズオック（Can Giuoc）郡（ロンアン〈Long An〉省）、そしてカンゾー（Can Gio）郡（HCM市）の貧しい生徒たちにプレゼントされた。残りの洋服は引き続き、クーチー（Cu Chi）郡とビンチャン（Binh Chanh）郡（HCM市）、トゥートゥア（Thu Thua）郡（ロンアン省）の生徒たちに贈呈される。この活動はHCM市在住の日本人、ドンズー日本語学校の先生、生徒たちによって毎年行われているものである。

【トゥイチュー新聞 1月22日付（写真：同紙ホームページ=<http://www.tuoitre.com.vn/>より）】

■ 制服を贈る活動に参加して

グエン・バオ・ニーム

今朝は、晴天に恵まれ、私たちは、ロンアン省ドゥックホア郡へと向かいました。私はこの度、ドンズー日本語学校の青葉奨学会が主催する「経済的に恵まれない子どもたちに1着の制服を贈る運動」に初めて参加しました。ドゥックホア郡へ続く道は曲がりくねり、複雑に入りこんでいました。

私たちの車は、多くの橋を越え、赤土の道を走っていきました。1時間ほどでドゥックホア郡の育英会にたどり着きました。そこは道路に面しているのではなく、とても小さな路地にありました。私たちが到着するころには、すでに先生方と学生たち、そして学生の家族が集まっていました。

子どもたちは、私たちの到着を待ち望んでいたようでした。そんな無邪気な子どもたちを目の前にして、私は温かい気持ちになりました。あめと新しい制服を手にした子どもたちは、とてもうれしそうでした。

Xã Hội - Việc làm
Số: 13/01, 2005, 12, 14 (GMT+7)
Tặng quần áo mới cho trẻ em nghèo

TT - Gắn 600 trong tổng số 3.000 bộ quần áo mới (quần xanh, áo sơ mi trắng) vừa được chương trình "Cây mưa xuân 2005" thuộc quỹ học bổng Lá xanh (Trường Nhật ngữ Đông Du TP HCM) trao tặng cho các học sinh nghèo tại huyện Đức Hòa và Cần Giuộc (tỉnh Long An) và huyện Cần Giờ (TP HCM).



Số quần áo còn lại sẽ được tiếp tục trao cho học sinh nghèo tại huyện Củ Chi, Bình Chánh (TP HCM) và huyện Thủ Đức (Long An). Đây là món quà nâng nầm của kiều bào Nhật Bản tại TP HCM và của giáo viên, học viên Trường Nhật ngữ Đông Du TP HCM dành cho học sinh nghèo.

D.T.DUY

喜んでいる子どもたちを見て、私もうれしい気持ちになり、疲れは少しも感じませんでした。1時間ほど子どもたちと楽しい時間を過ごし、名残り惜しい気持ちもありましたが、ドゥックホア郡の子どもたちと別れ、カンズオック郡に向かいました。

カンズオック郡への道のりは長く、道の両側の木々は、赤土の泥がかかっていたため紅葉しているように見え、道を歩く女学生のアオザイが風に揺れていました。ドンタイン小学校は、赤土の道路に建てられており、学校の設備や机や椅子は、大変粗末なものでした。

子どもたちの制服は着古したため、ところどころ糸がほつれていました。学校や学生の様子は、ラックヌイ小学校もタンタップ小学校も同じでした。子どもたちは無垢で、天真爛漫で明るく、勉強熱心でした。私は、子どもたちの健気な姿に大変感動し、心の中に深く印象に残りました。

テトを迎えるにあたり、子どもたちに幸せを運ぶことができ、うれしく思います。

（ドンズー日本語学校生徒・Nguyen Bao Nhiem）

2005年4月30日

会 員 各 位

ベトナム子供基金
代表 近藤 昇

定期会員総会招集のご通知

拝啓 ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
平素はベトナム子供基金の活動に温かいご支援を賜りお礼申し上げます。
さて、下記の通り2005年定期会員総会を開催いたします。
ご多忙中恐縮ですがご出席いただきたく、ご通知申し上げます。

敬具

記

日時 2005年6月18日(土) 午後2時～4時

場所 アジア文化会館教室
東京都文京区本駒込2-12-13
電話 03-3946-4121 (代表)

議題

- 1号議案 2004年活動報告
- 2号議案 2004年決算報告
- 3号議案 2005年活動計画案
- 4号議案 2005年予算案

スピーチ

(1) テーマ 日本留学生活の課題

(2) ゲストスピーカー

(イ) グェン・コック・カン (Nguyen Quoc Khanh) 元青葉奨学生
大阪大学 基礎工学部化学応用科学科2年

(ロ) ダン・バー・コイ (Dang Ba Khoi)

東京農工大学 工学部化学システム工学科4年

会員総会は会員の三分の一以上の出席をもって成立しますが、全国各地にいらっしゃる会員が総会にご出席いただくには大変ご無理な状況にあります。この現状から総会当日、ご出席できない方で委任状提出のない方は議長一任とさせていただきます。ご理解とご協力お願いいたします。

なお、総会出欠はがきにご記入の上、6月6日(月)までに切手を貼ってご返信ください。

以 上

ベトナム子供基金2004年活動報告

ベトナム子供基金は2004年、ベトナム青葉奨学会に総額1041万3654円の支援が実現できました。会員皆様のご協力で深く感謝申し上げます。内訳は、青葉奨学生への奨学金として468名分479万5419円、黄梅奨学基金として503万5000円の新たな支援、そして「2005年ベトナム子どもカレンダー」2000部の58万3235円です。

「2004年活動方針」は10周年記念事業を成功させ青葉奨学会の目的達成のためさらなる貢献をすることでした。おかげさまで黄梅奨学金は農漁村や山岳地域で経済的に恵まれない小学生、中学生、高校生を対象に14地域270名の学生に奨学金の支援ができました。

「ベトナム子どもカレンダー」は2004年2月、ホーチミン市で204名の青葉奨学生が参加し、絵画大会が行われました。参加者は楽しく熱心に絵を描き、大変立派な絵がたくさん描けました。7月には「東京都千代田区」と「ベトナム千代田地球市民の会」共催の「ベトナム夢展覧会」が開催され、多くの人たちに青葉奨学生に関心を持って

いただきました。カレンダーは会員皆様にご購入いただきました。その販売金額63万3235円のご協力をいただき、8月28日、青葉奨学会のグエン・ドク・ホウ工代表に2000部贈呈ができました。

第3回里子訪問ツアーは7月、ハノイ在住青葉奨学生35名と交流会を行いました。式典後の会食会でゲームや歌を歌い楽しく過ごすことができました。きっと奨学生には楽しい思い出になったことと思います。ハノイ奨学会ならびに学校関係者のご協力に感謝申し上げます。

2004年は36名の新規会員と里親基金35口増がありました。既存会員の事情から里親基金は予算に対して84万9280円の減少となりました。基金収入減は今後課題が残りました。一方、経費は予算187万1084円に対して、実績は168万1183円で、18万9901円の経費節約ができました。

運営委員会は毎月第3土曜日、運営委員ならびに会員の出席で開催されました。里子履歴票ならびに里子の手紙の翻訳はボランティアの皆様のご協力で大変スムーズに行われ、感謝申し上げます。おかげさまで2004年が無事に終わりました。会員および関係者の皆様に重ねてお礼申し上げます。

ベトナム子供基金2005年活動計画(案)

ベトナム子供基金は2005年6月3日、発足から10年を迎えます。10年の歩みでは、青葉奨学会の期待に十分応えることができました。会員皆様のためゆめぬかいご支援に感謝申し上げると同時に今後のご支援を重ねてお願い申し上げます。

2005年は、子供基金が受け持つ青葉奨学生(里子)406名が安心して学業に精進できるよう奨学金支援を継続いたします。

10周年記念事業として開始いたしました黄梅基金では、農村・漁村・山岳地域の恵まれない子どもたちへの奨学金の支援と学校建設を行います。2005年も継続してご支援を賜りさらなる拡充を図りたいと願っております。

『ベトナム子供基金通信』10周年記念特集号をお届けいたします。10年の歩みと子供基金の実績

をご報告申し上げます。子供基金のPRにもご活用ください。同通信は青葉奨学生を中心にベトナムの教育事情について皆様にお伝えすることを目的に発行いたします。

インターネットのホームページは子供基金の実情が多くの人にお伝えできるよう継続更新します。

2004年収支計算書のとおり、里親基金、一般基金および賛助基金等の収入は大変厳しくなっております。2005年予算案のとおり、経費予算を削減し、青葉奨学会支援総額に対する経費金額を少なくいたしました。会員皆様のご協力をお願いいたします。

子供基金はボランティアの皆様のご協力で運営されています。青葉奨学会駐ホーチミン市日本人スタッフ、里子の手紙等の翻訳、運営委員の皆様には今後ともご協力をお願いいたします。

収支計算書（案）

（自2004年1月1日 至2004年12月31日）

2005.2.19

2005年予算(案)

単位：円

単位：円

項目	A2004年予算額	B 2004年決算額	B-A 差額	2005年予算案
* 収入				
当期里親基金（一般）	5,380,000	4,530,720	▲849,280	5,280,000
当期里親基金（学生）	10,000	0	▲10,000	20,000
当期一般基金	600,000	421,000	▲179,000	450,000
当期賛助金	400,000	262,802	▲137,198	250,000
黄梅基金	3,000,000	3,551,500	551,500	5,500,000
利息 その他収入	610,000	952,759	342,759	150,000
当期総収入	10,000,000	9,718,781	▲281,219	11,650,000
前期繰越額	4,666,113	4,666,113	0	1,969,057
収入合計額	14,666,113	14,384,894	▲281,219	13,619,057
* 支出				
奨学金	4,500,000	4,795,419	295,419	4,200,000
ベトナム 黄梅基金	5,000,000	5,035,000	35,000	5,400,000
その他支援	560,000	904,235	344,235	100,000
支援金額合計	10,060,000	10,734,654	674,654	9,700,000
経費				
郵送費	237,000	238,970	▲1,970	227,200
事務所費・会議費	99,384	96,184	3,200	99,384
印刷費・コピー費	162,000	114,060	47,940	160,000
通信費	43,200	31,270	11,930	37,200
年会費・参加費	50,000	49,750	250	0
備品購入費	40,000	35,549	4,451	40,000
スタッフ活動費				
ホーチミン事務局	330,000	330,000	0	315,000
東京事務局	600,000	600,000	0	380,000
損害保険	66,500	63,120	3,380	66,000
交通費（ホーチミン）	110,000	40,830	69,170	70,000
交通費（東京）	80,000	63,180	16,820	78,000
雑費・振込み手数料	53,000	18,270	34,730	40,000
当期経費支出額	1,871,084	1,681,183	▲189,901	1,512,784
当期収支差額	2,735,029	1,969,057	▲765,972	2,406,273
* 当期繰越金差額	2,735,029	1,969,057	▲765,972	

流動資産

普通預金	みずほ銀行駒込支店（一般口）	257,007
	みずほ銀行駒込支店（黄梅口）	361,835
	みずほ銀行駒込支店（nifty）	7,602
郵便振替口座文京グリーンコート（一般口）		364,753
郵便振替口座文京グリーンコート（黄梅口）		806,600
郵便貯金	文京グリーンコート	170,810
現金		450

緊急支援

基金収入	0
前年繰越金	66,472
基金支出	0
次年繰越金	66,472

■事務局便り

おかげさまでベトナム子供基金は6月3日、10周年を迎えます。会員皆様の温かいご支援の賜物と感謝申し上げます。

6月18日(土)は、10周年記念の定期会員総会を行います。会員皆様はお忙しいことと思いますが、ぜひご出席くださるようあらためてお願い申し上げます。

10周年記念特集号を同封お届けいたします。十年一昔と申しますが、子供基金の歩みと成果の一部を紹介いたしました。懐かしく思われることや大きな実績に驚かされることが多々おありのことと思います。10周年の実績をバネに

新しい歩みを続けたいと思います。

今後とも皆様の温かいご支援よろしく願い申し上げます。

本通信等の発送は、経費節約のため運送会社のメール便を利用することにいたしました。郵便と異なり転居先へ転送されません。お手数ですが住所変更の際は事務局へご連絡ください。

里親基金と一般基金のお問い合わせが多くなっております。今後は封筒のあて名ラベルに会員皆様の里親基金や一般基金の最終入金日を表示いたします。参考にしてください。

表示は、「会員番号(KD-×××)年/月/日」となっています。(飯田)

■ご入金報告

ご支援ありがとうございます。(敬称略)

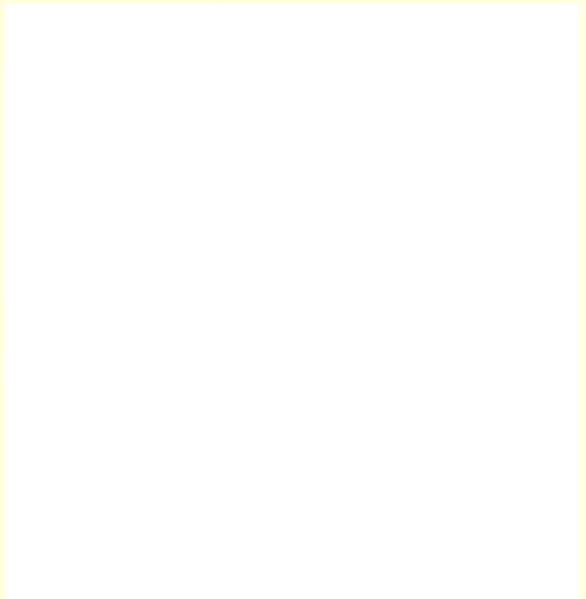
2004年12月



2005年1月



2005年2月



【編集後記】個人情報保護法が4月1日、施行されました。当基金は収集した個人情報を基金の管理、会員との連絡および付随する業務に関し利用いたします。また、先にお知らせしたように、会費の領収書発行の原則廃止にともない、会費納入された方のお名前を本通信に記載しております。本通信への記載を望まれない方は、事務局までご連絡ください。(望月)

■2005年4月7日現在の会員と奨学生（里子）：

里親基金：222名（297口）、一般基金：47名（54口）＝青葉奨学生406名

■学校建設黄梅基金：ベンチャー省クイホア村に小学校建設中

ベトナム子供基金10周年記念事業

ベトナム黄梅基金 1口1万円	ベトナム子供基金の会員で基金を設立します。	お申し込みは次の専用口座をお願いします。
個別黄梅基金 1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立します。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上、決定します。	口座名義「ベトナム子供基金」 郵便振替 00190-6-666994
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、個人またはグループで学校建設と黄梅基金を併設した基金を設立します。	銀行振込 みずほ銀行駒込支店 支店番号 559 普通預金 8071959

ベトナム子供基金会員募集

里親基金 年額1口 2万円	特定の「里子」に奨学金を支給する里親になっていただきます。ベトナム青葉奨学金から子どもの履歴票が届き、子どもとの手紙のやりとりができます。（学生会員は年額1口1万円）	会費納入は次の口座をお願いします。
一般基金 年額1口 1万2000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。子供基金通信によって、会の運営、子どもたちの様子をお伝えします。	口座名義「ベトナム子供基金」 郵便振替 00140-1-70399
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数等、いっさい自由です。	銀行振込 みずほ銀行駒込支店 支店番号 559 普通預金 1495745

ベトナム子供基金

東京都文京区本駒込 2-12-13

アジア文化会館内 〒113-8642

電話（代表）：03-3946-4121

ファクス：03-3946-7599

電子メール：kodomokikin@nifty.com

ホームページ：http://homepage3.nifty.com/vcf/

ベトナム青葉奨学会

QUY HOC BONG LA XANH

c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU

43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan

Ho Chi Minh, Viet Nam

電話：84-8-8477359

ファクス：84-8-8477527

ベトナム子供基金通信 第32号 2005年4月30日発行 発行所：ベトナム子供基金

発行人：近藤昇 編集人：望月良憲 印刷所：株式会社プリントン © Vietnam Kodomo Kikin 2005